

Ⅱ-8 酸素吸入

○要点

- 1 医師は、指示内容を電子カルテの医師指示に正確に入力する。
- 2 器械が正常に作動しているか確認する。
- 3 マスク・酸素カニューレの装着を確認する。
- 4 吸引器の準備、使用をする。
- 5 ルートを確認する。
- 6 加湿器の蒸留水を確認する。
- 7 火気は厳禁とする。

酸素吸入

エラー発生要因	事故防止対策	留意点
<p>1. 指示、投与法の誤認</p> <p>2. 機器の取扱いと確認不足</p> <p>3. 患者・家族への指導不足</p> <p>4. 酸素使用中の定期的点検不足</p>	<p>医師指示の入力</p> <p>①医師は、電子カルテの医師指示に指示内容を正確に入力する。</p> <p>電子カルテの医師指示確認と受領</p> <p>①看護師が医師指示を確認し受領する。 ②機器が正常に作動するか確認する。</p> <p>酸素吸入の開始</p> <p>①担当看護師は、指示された方法を電子カルテで確認後、酸素吸入を実施する。 ②担当看護師は、訪室時は必ず、酸素供給量と機器を確認する。 ③加湿器の蒸留水を確認する。</p> <p>車椅子・ストレッチャー用の酸素ポンベの管理</p> <p>①酸素ポンベの残量点検を行う。 ②点検し、空の時は「空」と表示しておく。 ③常時予備を確保しておく。</p> <p>酸素ポンベの保管場所</p> <p>①冷暗所でポンベスタンド等に立てて、安全な場所に保管する。</p>	<p>・機器点検時に不良・破損のものがあれば直ちに交換する。</p> <p>・流量計の見方 ポウル状の浮きは球中心 駒状の浮きは上端の目盛りを読む。</p> <p>・マスク・酸素カニューレの装着を確認する。 ・ルートを確認する。</p> <p>・生理食塩水、消毒薬の区別を行う。</p> <p>* 加湿器の蒸留水は不要 (短時間であるため)</p>